

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(平成30年9月解析分)

1 今月のトピックス ～ 風しんの流行に注意しましょう !! ～

風しんの感染が関東地方を中心に拡大しており、広島県でも8月以降患者数が増加しています。

風しんは、妊娠初期（特に20週まで）にかかると胎児に感染し、赤ちゃんが、難聴、白内障、先天性心疾患を特徴とする先天性風しん症候群を持って生まれてくる可能性が高くなります。

妊婦への感染を防止するため、感染予防や発症が疑われる場合の適切な対応をお願いします。

◇ 風しんとは

- ・風しんは、発熱、発疹、リンパ節の腫れなどを特徴とする病気です。
- ・2～3週間の潜伏期の後、発熱と共に発疹がみられ、3日程持続します。
- ・風しんウイルスによる感染症で、咳やくしゃみなどの飛沫で感染します。
- ・特効薬はなく、症状を抑えるための治療が中心となります。

◇ 感染予防 ～ 予防接種について～

風しんの予防には、予防接種が有効です。また、風しんは飛沫により感染することから、全国的に患者数が増加しているこの時期、外出後の手洗いはしっかり行いましょう。

定期の予防接種

定期予防接種の対象者は期限内の接種をお願いします。接種期間は次のとおりです。

第1期：生後12月から生後24月に至るまで

第2期：5歳以上7歳未満で、小学校就学前の1年間

※詳しくは、お住まいの市町の予防接種担当窓口にお尋ねください。

任意の予防接種

風しん罹患歴がなく、予防接種歴がない又は抗体検査で免疫があることを確認できない場合は、任意での予防接種を検討してください。次のいずれかに該当する方は、特に検討が必要です。

- ・30代から50代の男性
- ・妊婦の夫、子ども及びその他の同居家族
- ・10代後半から40代の女性（特に妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い者）



※妊娠中は予防接種を受けることができません。また、予防接種後2～3か月は、妊娠を控えましょう。

予防接種を実施している医療機関の検索方法

- 1 「救急医療NET hiroshima」にアクセス
- 2 「いろいろな条件でお医者さんをさがす」をクリック
- 3 「予防接種から探す」をクリック
- 4 「風しん」及び「麻しん及び風しんの二種混合」をチェック。次へ進むボタンをクリック
- 5 その他の必要な項目にチェックし、次へ進むボタンをクリックすると、接種可能な医療機関が表示されます。

◇ 発症が疑われる場合の対応

- ・発熱、発疹など、風しんを疑う症状がある場合は、あらかじめ医療機関に連絡の上、受診してください。受診の際など外出時にはマスクを着用し、妊婦との接触を避けましょう。
- ・風しんと診断された場合には、感染性を持つとされる期間（発疹が出た後の7日間）は、出勤や登校、外出を控えるようにしましょう。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成30年8月分(平成30年8月6日～平成30年9月2日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	33	0.07	0.05	→	10	ヘルパンギーナ	190	0.68	1.11	↓
2	RSウイルス感染症	388	1.39	0.90	↗	11	流行性耳下腺炎	27	0.10	0.55	↘
3	咽頭結膜熱	79	0.28	0.58	↓	12	急性出血性結膜炎	2	0.03	0.03	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	310	1.11	1.14	↘	13	流行性角結膜炎	78	1.08	0.99	→
5	感染性胃腸炎	954	3.42	3.72	→	14	細菌性髄膜炎	2	0.02	0.00	
6	水痘	40	0.14	0.41	↘	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.10	
7	手足口病	365	1.31	2.05	↘	16	マイコプラズマ肺炎	8	0.10	0.22	↘
8	伝染性紅斑	13	0.05	0.12	↑	17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	112	0.40	0.46	↗	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.02	—	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成30年8月分(8月1日～8月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	67	2.91	2.15	→	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	83	3.95	3.67	↗
20	性器ヘルペスウイルス感染症	19	0.83	0.76	↘	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	0.19	0.31	
21	尖圭コンジローマ	16	0.70	0.71	↗	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.07	
22	淋菌感染症	17	0.74	0.93	↗						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

発生記号(前月と比較)

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)	急増減	↑	↓	1:2以上の増減
○急増疾患 伝染性紅斑 (0.01 → 0.05)	増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
○急減疾患 咽頭結膜熱 (0.57 → 0.28)	微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
ヘルパンギーナ (1.85 → 0.68)	横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患, 月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	40	結核(40)〔西部保健所(5), 西部東保健所(6), 東部保健所(5), 北部保健所(3), 広島市保健所(11), 呉市保健所(3), 福山市保健所(7)〕
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症(4)〔北部保健所(1), 広島市保健所(1), 呉市保健所(1), 福山市保健所(1)〕
四類	19	E型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕, デング熱(1)〔広島市保健所(1)〕, レジオネラ症(6)〔西部保健所(1), 広島市保健所(3), 呉市保健所(1), 福山市保健所(1)〕, 重症熱性血小板減少症候群(1)〔東部保健所(1)〕, 日本紅斑熱(10)〔東部保健所(5), 呉市保健所(3), 福山市保健所(2)〕
五類	66	アメーバ赤痢(2)〔広島市保健所(1), 福山市保健所(1)〕, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(4)〔西部保健所(1), 広島市保健所(1), 呉市保健所(2)〕, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕, 後天性免疫不全症候群(3)〔広島市保健所(2), 福山市保健所(1)〕, 侵襲性インフルエンザ球菌感染症(1)〔福山市保健所(1)〕, 破傷風(1)〔東部保健所(1)〕, 梅毒(16)〔東部保健所(1), 広島市保健所(10), 呉市保健所(1), 福山市保健所(4)〕, 百日咳(31)〔西部東保健所(13), 東部保健所(2), 広島市保健所(9), 呉市保健所(1), 福山市保健所(6)〕, 風しん(7)〔西部東保健所(1), 東部保健所(5), 広島市保健所(1)〕